

池田出身 西條さん直木賞



発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表) 0155-22-2121

号外



「心淋し川」 集英社。小さくよどん
だ川が流れる江戸・千駄
木町の「心町(うらまち)」が舞台。人生と
いう川の流れて行き詰まり、もがいていた人
々の生きる喜びと悲しみが織りなす時代小
説。全6話の連作短編。

下音更小・中
帯広三条高出

十勝初、「心淋し川」で

うらさび

【東京】第164回芥川・直木賞(日本文学振興会主催)の選考

会が20日午後、東京築地の新喜楽で開かれ、直木賞に西條奈加さん(56)＝池田町出身＝の「心淋(うらさび)し川」(集英社)が

選ばれた。十勝管内出身の作家による受賞は初めてとなる。

直木賞は西條さんら初候補者6人による混戦となった。受賞作の「心淋し川」は、小さくよどんだ川が流れる江戸・千駄木町

の「心町(うらまち)」が舞台の時代小説。表題作など6編。

西條さんは1964年池田町生まれ、東京在住。親の転勤で帯広市や音更町などで過ごし、音更下音更小、下音更中、帯広三条

高校卒。地元の民間企業に勤めた後、東京の専門学校に進み、会社員だった30歳前後から小説を書き始めた。

2005年「金春屋ゴメス」で日本ファンタジーノベル大賞を受賞し、デビュー。12年「涅槃(ねはん)の雪」で中山義秀文学賞、15年「まるまるの毬(いが)」で吉川英治文学新人賞。20年1～8月、十勝毎日新聞に連載小説「婿どの相逢席(あいあいせき)」が掲載された。

道立文学館(札幌)によると、管内出身の作家による直木賞受賞は初。道内出身では第163回の馳星周さんの「少年と犬」に続く2回連続の受賞になった。芥川賞は宇佐見りんさん(21)の「推し、燃ゆ」(文芸秋季号)だった。



池田町出身の西條さん(撮影/冨永智子)

十勝毎日新聞
未購読の方
7日間無料
お試しできます

お申し込みはお電話で
フリーダイヤル ニックリ サンキュー
☎0120-25-3999
またはWEBで
とかちシーオーエージェント | ほんばい
www.tokachi.co.jp/hanbai/
いつでもどこでも最新の「勝毎」

勝毎
電子版
kachimai.jp